



はなふじ

自分・仲間・夢「かがやく出羽の子ども」を育てる

R7出羽小学校だより

第6号

令和7年11月21日

山形市立出羽小学校

校長 武田 重泰

児童数 375名

『ほっとるうむDewa』の活動紹介

～出羽地区の人的・環境的・伝統的な強みに支えられる本校の特色ある活動①～

霜寒の候、保護者及び地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動へ多大なご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。また、インフルエンザが流行する時季に入り、本校においても既に4学級を閉鎖する等の対応をしてまいりましたが、緊急な諸対応にもかかわらず、特に保護者の皆様には、現況をご理解いただき、迅速かつ適切な対応にてご協力を賜り、重ねて御礼申し上げます。

さて、本号では、みだしにありますとおり、本校の教育活動を強力に下支えしていただいている『ほっとるうむDewa』（現代表：伊豆田愛さん）の活動を紹介します。

『ほっとるうむDewa』の設立は令和4年度であり、令和5年度から本格実施となりましたので、本格実施となり本年度で3年目になります。ねらいや基本理念等については、以下のとおりです。

1 ねらい

- (1) 子どもや保護者が、心を開くことのできる場を増やすことで、子どもの成長や子育てを支えるとともに、学校に更なる安心感を醸成する。
- (2) 『ほっとるうむDewa』の情報を共有することで、子どもへの支援や学校と保護者との連携をより確かなものにする。

2 基本理念 「自分の居場所で自分の学びを」

3 具体的な開催方法

- (1) 日 時 毎週水曜日 児童は10:25~10:45 保護者は10:00~12:00
- (2) 場 所 本校和室

実際に「ほっとるうむ」が開催される日の様子ですが、まず何よりも子どもたちが、週1回の開催日を心待ちにしている、中間休みになると実に多くの子どもが和室へ集まっています。カードゲームや将棋・折り紙・塗り絵等、各自が好きなことに興じたり、スタッフの方々と談笑したりして過ごす姿があります。また、時には、友だちと口げんか等をしたことにより心がモヤモヤした際、『ほっとるうむ』を訪れてスタッフの方々と話をし、心を落ち着かせてから教室へ戻る子どもの姿があることもあります。このように、子どもたちが安心してスタッフの方々と関わることができるのは、スタッフの方々が、本校の子どもたちに対して溢れるほどの愛情をもっていただいていることに加え、子どもたちと関わる際には「傾聴する」ことを基本にし、子どもの自己決定の機会の創出や自尊感情の醸成に心を砕いていただいているのです。「自治的守秘義務」を遵守していただいていることも、子どもから厚い信頼を寄せられている要因の一つです。

結びに、開設して3年目を迎える『ほっとるうむDewa』は、本校の学校経営にとってなくてはならない組織になっています。「みんなのコミュニティ」の代名詞どおり、本校児童の成長を下支えしていただいていることに深く感謝しております。引き続きよろしくお願ひいたします。

